

高速道路開通により時間短縮と一般道の交通環境が改善

・相浦中里地区から佐世保市中心部間の所要時間が半分以下に短縮。【図1】

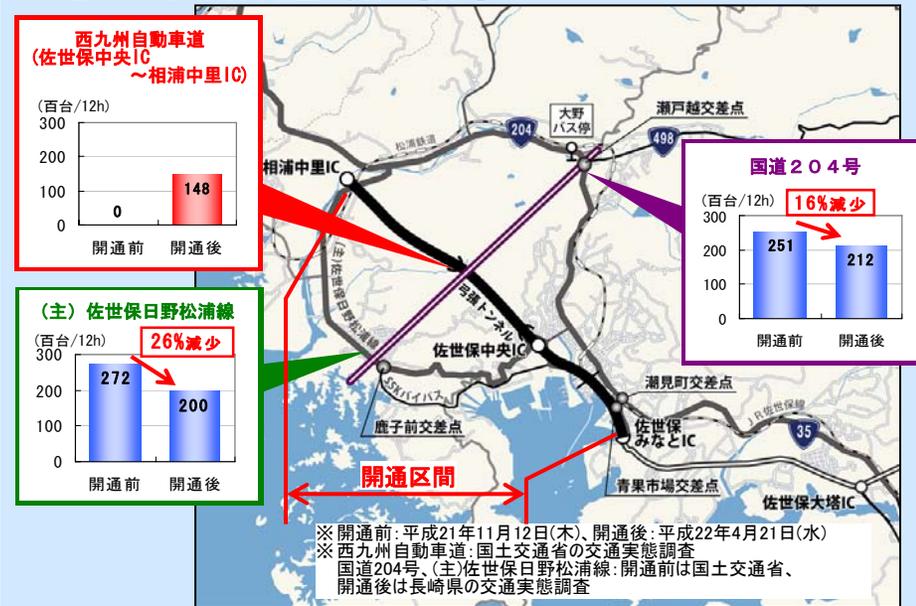
・国道204号、(主)佐世保日野松浦線などの一般道を利用していた交通が西九州自動車道を利用するようになり、各路線の交通量が約2～3割減少し、渋滞緩和が図られた。【図2】

・バス利用者の多い大野バス停でのバスの遅れ時間が減少し、5分以上遅れるバスの割合が31%から14%に減少するなど、バスの定時性が向上。【図3】

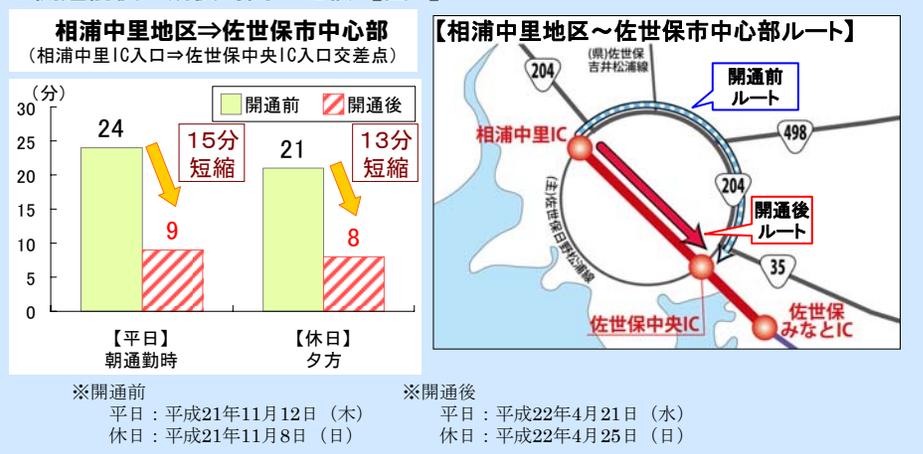
・タクシードライバーの約9割が一般道の混雑緩和により生活道路を抜け道として利用することが少なくなったと回答しており、住宅街などでの生活環境・交通安全性が向上した。【図4】



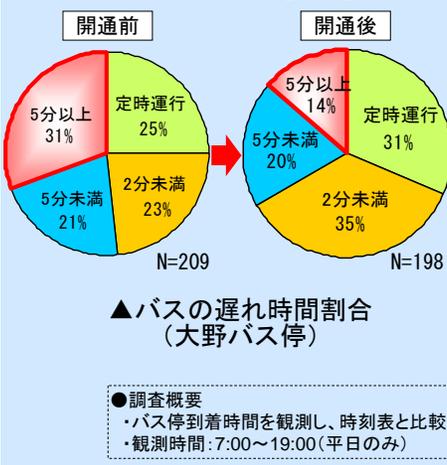
■開通前後における交通量の変化【図2】



■開通前後の所要時間の比較【図1】



■バスの定時性の向上【図3】



■生活環境・交通安全性の向上【図4】

